

【重点審議事項の論点整理について（健康医療福祉部所管分）】

重点審議事項	委員会における取組状況	主な論点	委員会における主な意見	備考
新型コロナウイルス感染症対策と健康しがの実現について	<p>○令和4年5月18日 常任委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和4年度中に策定、変更が予定されている計画等について 新型コロナウイルス感染症にかかる県内の感染動向等について <p>○令和4年5月27日 常任委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> 議第81号 令和4年度滋賀県一般会計補正予算（第1号）のうち健康医療福祉部所管部分について <p>○令和4年6月8日 常任委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症にかかる県内の感染動向等について 	医療提供体制について	<ul style="list-style-type: none"> 検査キット配布・陽性者登録センターの運用により、発熱外来の負担軽減につながったが、検査結果が陰性であった場合には、別の病気の疑いもあるので、速やかに医療機関につなぐ仕組みも検討されたい。 年末年始の医療機関への診療協力の呼びかけ当たっては、県民の外来需要にしっかりと応じられるよう、医療体制を確保されたい。 	
	<p>○令和4年8月8日 常任委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> 議第83号 令和4年度滋賀県一般会計補正予算（第3号）のうち健康医療福祉部所管部分について 新型コロナウイルス感染症にかかる県内の感染動向等について 「滋賀県保健医療計画中間見直し（原案）」に対して提出された意見・情報とそれらに対する滋賀県の考え方について 	システム化・DXの推進について	<ul style="list-style-type: none"> HER-SYSへの入力について、人間が紙情報を入力するのはミスの原因になる。膨大なデータ処理はデジタルの得意分野であるので、一刻も早くシステム化等に取り組まされたい。 ホームページ上での情報発信について、県民のユーザビリティに配慮していない情報発信が見られる。行政のDXを進めることは、業務の効率化と県民の利便性向上につながるもので、忙しいからこそDXの推進に積極的に取り組まされたい。 	
	<p>○令和4年9月14日 常任委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症にかかる県内の感染動向等について <p>○令和4年10月7日 常任委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> 議第110号 令和4年度滋賀県一般会計補正予算（第4号）のうち健康医療福祉部所管部分について 新型コロナウイルス感染症にかかる県内の感染動向等について 新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けの見直しを含めた柔軟な対応を求める意見書について 	ワクチン接種の推進について	<ul style="list-style-type: none"> ワクチン接種の副反応に関する情報が錯綜しており、子供の接種率が高まらない原因になっている。誰もがためらうことなくワクチン接種ができるよう情報発信に取り組まされたい。 今冬、インフルエンザとの同時流行が懸念されている。インフルエンザワクチンの接種率を高めるため、県民に接種率を示すなど、接種のための呼びかけに取り組まされたい。 	
	<p>●令和4年11月9日 県外行政調査</p> <ul style="list-style-type: none"> 沖縄県衛生環境研究所（沖縄県うるま市） 沖縄県衛生環境研究所の新整備について 	後遺症への対応について	<ul style="list-style-type: none"> 現役世代も含め、後遺症を訴えている方が県内に大勢いることは、県にとっての大きな損失であり看過できない。後遺症に関するアンケート結果を踏まえ、しっかりと対応されたい。 	
	<p>○令和4年12月15日 常任委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> 議第145号 令和4年度滋賀県一般会計補正予算（第5号）のうち健康医療福祉部所管部分について 新型コロナウイルス感染症にかかる県内の感染動向等について 	学校・社会活動との両立について	<ul style="list-style-type: none"> 夏は、最後の大会などを迎える子供たちにとって大切な時期である。学校長や競技団体による開催判断もあるが、必要以上に過敏になることで、子供たちの生涯で大切な場面が奪われることがないように、教育委員会とも十分に連携を図られたい。 	
		県民等への適切な情報発信について	<ul style="list-style-type: none"> 全国植樹祭において、熱中症の心配がありマスクの着用が必要とされない場面で、マスクを着用している様子が全国に報道された。メッセージ性が強い行事を開催する際には、県としてしっかりと考えられたい。 	

	<p>○令和4年12月21日 常任委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・議第174号 令和4年度滋賀県一般会計補正予算（第6号）のうち健康医療福祉部所管部分について <p>○令和5年2月8日 常任委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症にかかる県内の感染動向等について 		<ul style="list-style-type: none"> ・療養期間の短縮について、会社や学校が、どのように出勤者等に対応すればよいのか、混乱を防ぐためにも正しい情報発信に努められたい。 ・基本的な感染対策として換気が重要である。換気方法が間違っている場合があるので、常時換気の必要性について、今一度、注意喚起を行われたい。 ・濃厚接触者等の外出基準の緩和について、変更を知らず外出できずに困っている方がおられたので、徹底した情報発信に取り組みたい。 	
		<p>財源確保について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地方創生臨時交付金は恒久的な財源ではないので、県としてコロナ収束後をしっかりと見据え、必要な財源確保に努められたい。 ・感染症法上の位置づけの5類見直しにより、医療機関には様々な負担が生じることになるので、各医療機関がしっかりと患者を診療できるよう、財政的な支援を国に要望されたい。 	

重点審議事項	委員会における取組状況	主な論点	委員会における主な意見	備考
誰もが暮らしやすい共生社会の実現について	<p>○令和4年5月18日 常任委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度中に策定、変更が予定されている計画等について <p>●令和4年7月19日 県内行政調査 各障害当事者団体との県民参画委員会（彦根市）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障害特性に応じた意思疎通手段や課題等について <p>○令和4年8月8日 常任委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・（仮称）滋賀県手話をはじめとする障害の特性に応じた意思疎通を理解し、促進する条例骨子（案）について ・令和3年度滋賀県における児童虐待相談対応件数等の状況について <p>○令和4年10月7日 常任委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・議第110号 令和4年度滋賀県一般会計補正予算（第4号）のうち健康医療福祉部所管部分について ・滋賀県自殺対策計画骨子（案）について 	<p>滋賀県自殺対策計画について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自殺対策については、臨床心理や精神医療だけではなく、社会的アプローチから調査研究や分析を行うことで、厚みのある対策がとれるように検討されたい。 ・令和3年度の自殺の動機、理由は、経済・生活問題の順位が上昇している。来年は、ゼロゼロ融資の返済時期を迎えるので、相談を受ける側もしっかりケアできるようバックアップ体制の構築に取り組みたい。 ・コロナ禍で女性の自殺者が増えており、様々な相談がG-NETしが等にも寄せられている。相談体制の強化と生活や就労に関わる経済的支援の両方が必要であり、「女性支援」を計画に太い柱で盛り込んでいただきたい。 ・文化芸術が心の健康に及ぼす影響は大きいため、文化・スポーツの取組や県の施策としっかり連携した対策を進められたい。また、計画には、死生懇話会における議論の内容も取り入れられたい。 	令和5年3月 滋賀県自殺対策計画策定

	<p>・(仮称) 滋賀県手話をはじめとする障害の特性に応じた意思疎通手段の利用の促進に関する条例(骨子案)について</p> <p>●令和4年11月9日 県外行政調査 NPO法人にじのはしファンド(沖縄県那覇市) ・社会的養護自立支援、子供・若者の居場所事業等について</p> <p>○令和4年12月15日 常任委員会 ・滋賀県自殺対策計画(素案)について ・一般所管事項について</p> <p>○令和4年12月21日 常任委員会 ・議第174号 令和4年度滋賀県一般会計補正予算(第6号)のうち健康医療福祉部所管部分について</p> <p>○令和5年2月8日 常任委員会 ・令和3年度高齢者虐待防止法に基づく対応状況等に関する調査結果について</p>	<p>滋賀県手話をはじめとする障害の特性に応じた意思疎通手段の利用の促進に関する条例について</p>	<p>・県民参画委員会において、意思疎通手段の「獲得」が大変重要だという意見があった。条例名には「利用の促進」が入っているが、「獲得」に対する思いもしっかりと受け止めた条例にされたい。</p> <p>・県が進めようとしている方向性と当事者団体との思いが乖離しているように感じる。一体型の条例として進めるに当たっては、専門部会での議論や県民参画委員会での意見を踏まえ、各当事者団体としっかり話し合い、方針に賛同いただける状況をつくるように努力されたい。</p> <p>・速やかに策定してほしいという思いに応えるためにも、様々な御意見や思い受け止め、心を砕きながら議論を前に進めていただきたい。</p>	
		<p>保育園児等の事故防止について</p>	<p>・認可外保育施設の送迎用車両への安全装置の設置について、支援対象外の保育施設にも指導や働きかけを行い、装置だけに頼ることなく、滋賀県内では園児の事故が起きないように、しっかりと取り組まれたい。</p>	
		<p>介護事業所について</p>	<p>・介護事業所が廃業となる場合、事業所変更による高齢者本人の健康や家族の負担が懸念される。利用者が翻弄されることがないように丁寧な対応をされたい。</p> <p>・介護事業所は、コロナ禍で在宅療養をしている高齢者の介護も担っている。ヘルパー不足で困っている事業所が成り立つよう、国に介護報酬を上げることなどを求められたい。</p>	
		<p>妊産婦、子供施策について</p>	<p>・妊産婦、子育て家庭に対する伴走型相談支援の実施については、二世帯居住が減り、産後鬱の話をよく聞くので、より綿密に取り組まれたい。</p>	
		<p>高齢者虐待について</p>	<p>・コロナ禍において自治体や地域の活動が減り、その中で警察官に会う機会も少なくなっている。家庭内の虐待については、家族のことを外部に言えない方が多く、地域の重層的なネットワークを再構築する必要があるため、県として市町をしっかりと支援されたい。</p>	

【重点審議事項の論点整理について（商工観光労働部所管分）】

重点審議事項	委員会における取組状況	主な論点	委員会における主な意見	備考
地域経済の活性化と持続可能な観光施策について	<p>○令和4年5月18日 常任委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度包括外部監査の結果および意見に対するその後の措置状況について ・情報発信拠点「ここ滋賀」のリニューアルオープンについて 	中小企業の活性化について	<ul style="list-style-type: none"> ・県内の商店街も勢いが落ちてきているが、チャレンジな取組をしている店舗もあり、二極化している。にぎわいを回復していくために、市町と忌憚ない意見交換を行いながら、県ができる支援方法を探っていただきたい。 	
	<p>○令和4年5月27日 常任委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・議第81号 令和4年度滋賀県一般会計補正予算（第1号）のうち商工観光労働部所管部分について <p>○令和4年6月8日 常任委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公の施設にかかる指定管理者の選考について ・情報発信拠点「ここ滋賀」の第1期運営について <p>○令和4年7月21日 常任委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・議第82号 令和4年度滋賀県一般会計補正予算（第2号）のうち商工観光労働部所管部分について <p>○令和4年8月9日 常任委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・議第83号 令和4年度滋賀県一般会計補正予算（第3号）のうち商工観光労働部所管部分について ・公益法人等の経営状況説明書および出資法人経営評価の結果について（公益財団法人滋賀県産業支援プラザ、公益財団法人滋賀県陶芸の森） ・出資法人経営評価の結果について（公益社団法人びわこビジターズビューロー） ・令和3年度滋賀県中小企業活性化施策実施計画の検証について ・滋賀県中小企業の活性化の推進に関する条例施行10年の施策の総括・検証について ・地域再生計画「滋賀県本社機能移転促進プロジェクト」の変更について ・「ここ滋賀ショッピングサイト」の実績について ・一般所管事項について <p>○令和4年9月14日 常任委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高等技術専門校のあり方の検討について 	<p>人材育成・起業支援について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・中小企業における人材育成について、企業が単独で担うのは負担が大きく困難な場合がある。労働生産性向上のため、共通で人材育成することが可能かなど、検討をお願いしたい。 ・県内の子供たちに地元で起業し、頑張ってもらわないと、新たな雇用やビジネスが生まれにくい。起業家や創業者を育てられるよう、県内の様々な知見が集積する滋賀県産業支援プラザとも連携し、高校生段階から人材育成に取り組まれない。 ・高等技術専門校について、施設や機器が老朽化しているので、県の責務として時代に合った職業訓練ができる環境を整えられたい。また、5年先、10年先の産業界でどういった人材が求められるのかを把握し、審議会ではしっかりと高等技術専門校の在り方について議論されるよう努められたい。 ・滋賀県立テクノファクトリーの入居企業について、委員側からも支援が必要な企業に情報提供できることがあるので、紹介をお願いしたい。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・出資法人経営評価の結果について（公益社団法人びわこビジターズビューロー） ・令和3年度滋賀県中小企業活性化施策実施計画の検証について ・滋賀県中小企業の活性化の推進に関する条例施行10年の施策の総括・検証について ・地域再生計画「滋賀県本社機能移転促進プロジェクト」の変更について ・「ここ滋賀ショッピングサイト」の実績について ・一般所管事項について 	滋賀県産業誘致戦略について	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通機関の存続の議論がされており、公共交通とも連携した総合的な戦略にする必要があるため、土木交通部で策定中の滋賀交通ビジョンとしっかり連動させられたい。 ・市町からの意見聴取に当たっては、既に先行して、用地を活用した誘致に取り組んでいる市町があるので、市町の取組を後押しできるように、しっかりと連携されたい。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・「ここ滋賀ショッピングサイト」の実績について ・一般所管事項について <p>○令和4年9月14日 常任委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高等技術専門校のあり方の検討について 	「今こそ滋賀」観光推進事業について	<ul style="list-style-type: none"> ・全国版「今こそ滋賀を旅しよう！」について、滋賀県は日帰り旅行クーポンを当初は発行しないということだが、参加加盟店の売上げにも大きく関わってくるので、早いタイミングで使えるように検討されたい。 ・これまでの事業において新規顧客獲得数や、リピーター割合などが集計できていないので、県として成果をしっかりと集計し、次の観光施策に生かせるよう努められたい。 		

	<p>○令和4年10月6日 常任委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・議第110号 令和4年度滋賀県一般会計補正予算（第4号）のうち商工観光労働部所管部分について ・滋賀県中小企業の活性化の推進に関する条例施行10年の総括等について（中間報告） ・工業技術総合センター信楽窯業技術試験場の開所について ・一般所管事項について <p>●令和4年11月10日 県外行政調査</p> <p>瀬長島ウミカジテラス（沖縄県豊見城市）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・瀬長島における観光誘客の取組について ・首里染織館 suikara（沖縄県那覇市） ・伝統技術の次世代継承と情報発信のための新拠点整備について ・沖縄 I T 津梁パーク（沖縄県うるま市） ・企業集積拠点の整備について <p>○令和4年12月14日 常任委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・議第145号 令和4年度滋賀県一般会計補正予算（第5号）のうち商工観光労働部所管部分について ・指定管理者の指定につき議決を求めることについて（滋賀県立テクノファクトリー） ・（仮称）滋賀県産業誘致戦略の策定について ・一般所管事項について <p>○令和4年12月21日 常任委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・議第174号 令和4年度滋賀県一般会計補正予算（第6号）のうち商工観光労働部所管部分について 	<p>しが割キャンペーンについて</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・大規模な事業を行う際には、消費者の動きや中小事業者にどういった効果があったのか測定する必要がある。これまではデータの収集ができていないことが多かったので、しが割キャンペーンの実施に当たっては、しっかりとデータの収集に取り組みたい。 ・しが割キャンペーン第2弾の実施については、割引率や配信頻度を下げ、長期に消費を続けてもらう方法もある。制度に頼らず継続的な消費マインドをつくっていく必要があるので、前例にとらわれず、その時々最適な判断をされたい。 	
		<p>情報発信拠点「ここ滋賀」について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・あくまで情報発信拠点であるので、商品を置いている一部の事業者だけが恩恵を受けるのではなく、その後ろにある滋賀県全体の魅力について奥行きのある情報発信を行われたい。 ・滋賀県に愛着を持った言葉や、商品の説明をどれだけ店舗スタッフが語れるかが大事であり、第1期目の反省を踏まえ、滋賀県への誘客率を高めるため、しっかり取り組まれたい。 ・ここ滋賀ショッピングサイトは、今年度より「滋賀の名品」サイトとして中小企業団体中央会による独自運営に移行したということだが、県内事業者のネット販売の受皿でもあったので、今後、「ここ滋賀」として、県内事業者をどのように支援するのか、ネット販売の在り方を考えられたい。 	
		<p>財源確保について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地方創生臨時交付金は恒久的な財源ではないので、県としてコロナ収束後をしっかりと見据え、中小企業者支援や観光振興対策などの必要な施策を行うための財源確保と、次なる施策の構築に努められたい。 ・商工観光労働部は、施策を通じ県の県税収入を上げられる唯一の部局であるので、しっかりと取り組まれたい。 	

【重点審議事項の論点整理について（病院事業庁所管分）】

重点審議事項	委員会における取組状況	主な論点	委員会における主な意見	備考
<p>県民に質の高い医療を提供するための県立病院のあり方について</p>	<p>○令和4年5月18日 常任委員会 ・県立病院の経営形態の検討について</p> <p>○令和4年8月8日 常任委員会 ・議第95号 滋賀県病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例案について ・令和3年度病院事業の決算概要について ・県立病院の経営形態の検討状況について</p> <p>○令和4年10月6日 常任委員会 ・議第132号 権利放棄につき議決を求めることについて ・県立病院の経営形態の検討状況について</p> <p>○令和4年12月15日 常任委員会 ・議第150号 令和4年度滋賀県病院事業会計補正予算(第1号)について ・県立病院の経営のあり方について ・一般所管事項について</p> <p>○令和5年2月8日 常任委員会 ・県立病院の経営強化について</p>	<p>県立病院の経営改善について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 医業未収金については、事前に患者や家族にしっかりと説明し、保証人を求めるなど、病院経営の観点から未然に発生を防ぐための努力をされたい。また、病院事業庁として、今後、どう未収金に対応していくのかをしっかりと考えられたい。 ・ 職員の給与水準について、人事委員会勧告に従うということだが、現在、経営形態について議論している中であり、今後は、全部適用との関係も十分踏まえられたい。 ・ 経営形態について、政策医療や不採算医療を安定して提供するためには、独立行政法人化は課題が大きいので、改善余地のある部分について、しっかりと努力していくべきである。 ・ 経営改善に向けて、医療機器や人件費など様々踏み込まなければいけない部分がある。県が最終的な判断を行う際には、全部適用をしっかりとフル活用する前提で判断されたい。 ・ 経営形態の在り方の議論が、独立行政法人に絞った議論になってしまっている。経営形態にかかわらず、しっかりと医療を充実し、成果が上がるように取り組まれたい。 ・ 職員の給与費比率が他県に比べ高いので、収入を増やすとともに、経営の効率化により下げる努力をされたい。また、プロパー職員の割合を高めることも検討されたい。 	
		<p>小児保健医療センターについて</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 養護学校や特別支援学校の入学者が増え逼迫している。医療政策と教育政策は密接に結びついているので、教育委員会と連携し、発達障害機能を充実させるなど、総合的な取組を行われたい。 ・ 多くの医療的ケア児が長期間入院しており、急性期病院として病床を回転させるためには、そういった子供の受け入れができる施設についても検討する必要がある。 ・ 再整備計画を進めるに当たっては、事前に関係者や県民の声を聞く機会を十分に確保していただきたい。 	
		<p>患者への案内について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 選定療養費の徴収について、国の通知に基づき県立病院のルールも変更されており、制度が分かりにくく困っている患者がいる。院内等でしっかりと制度の周知に努められたい。 	